

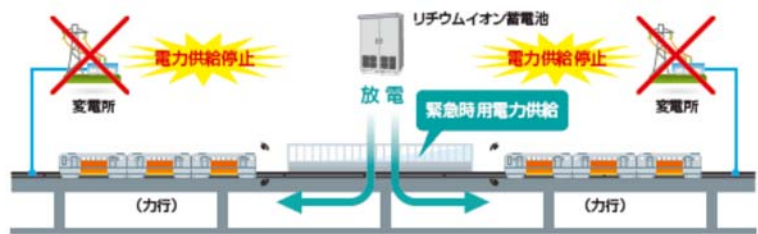
## 多摩モノレール

### 新「電力貯蔵装置」導入により停電時の非常走行が可能に！

多摩都市モノレール株式会社では、平成28年6月に、日野変電所に新たな「電力貯蔵装置」（非常走行用及び回生吸収用リチウムイオン電池）を導入しました。このたび、本装置による非常走行試験を実施し、停電時に駅間停止した全車両が最寄駅まで自力で走行できることを確認しました。これにより、停電時にお客様の安全かつ迅速な退避が可能となります。本装置の導入により、非常用電源を確保し、電力供給が停止した場合における更なる安全・安心を推進するとともに、平時においてはこれまで行っていた回生電力の有効活用を一層押し進め、省エネのより一層の向上を実現してまいります。

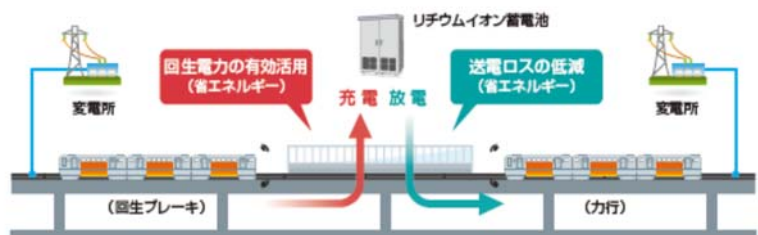
**緊急時** 列車走行用電源として電力を供給

災害などにより、電力会社からの送電が停止した場合は、最寄駅まで列車を走行させるための電源として蓄電池から電力を供給することができます。



**平常時** 回生電力を貯蔵し必要な時に電力を供給

回生電力を蓄電池に蓄え、この電力をき電電圧低下時に放電し、電力を有効活用します。  
※き電とは、列車運行のための電力を供給すること



回生吸収用リチウムイオン電池「LIM25H-8」



非常走行用リチウムイオン電池「LIM50EN-12」